

基礎天端は家の構造体を基礎に設置する重要な部分で、平滑性と耐久性が求められます。「エスレベルNK」は優れた施工性による水平平滑面の確保と耐久性をあわせもち、精度の高い設計・施工が実現できます。

## 特長

### クラック抵抗性

- ・基礎天端は乾燥を受けやすい環境です。
- ・エスレベルNKは繊維を混入することでクラックに対する抵抗性を高めています。

### 優れた平滑性

- ・エスレベルNKの流動性は、セルフレベルリング材の品質規準を大きく上回ります。
- ・流すだけで平滑でレベル精度の高い天端面が形成されます。

### 高強度・高耐久

- ・材齢 28 日強度は 50N/mm<sup>2</sup> 程度です。
- ・一般的な基礎コンクリートと同等以上の強固な天端面が得られます。

### 短時間仕上げ

- ・基礎コンクリート打設から天端仕上げまで 1 日で作業が終了できます。

## 荷姿・配合

[荷姿] 紙袋 (25kg 入り)

練混ぜ水量	練上がり量
5.5 ~ 6.5kg / 袋	約 14 リットル / 袋

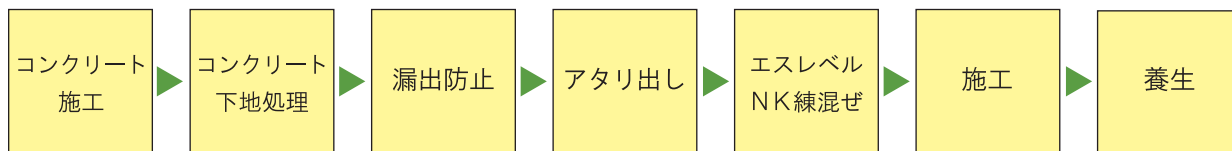
## エスレベルNKの物性値

		試験結果	社内品質規準
練混ぜ水量		6.0kg/袋	—
密度 (kg/L)		2.08	—
フロー値 (cm)		24.5	19 以上
凝結時間	始発	10 : 30	—
	終結	14 : 25	20 以内
圧縮強度 (N/mm <sup>2</sup> )	3 日	14.0	—
	28 日	50.3	27 以上
下地接着強度 (N/mm <sup>2</sup> )		1.50	0.7 以上

※物性値は測定例であり性能を保証するものではありません。

## 施工手順

### 当日施工



**施工上の注意**：基礎コンクリートのブリーディング水が無くなった時点で施工して下さい。

### 翌日施工



**施工上の注意**：付着阻害物であるコンクリート表面のレイタンスを除去して下さい。プライマー（エスレベルNK用）を 4 倍に希釈し、施工箇所に塗布して下さい。プライマーが乾いた後に施工（流し込み）して下さい。

## 1. 練混ぜ

[使用器具]

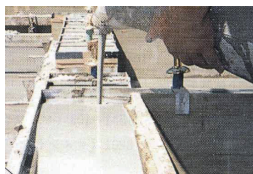
- ・ハンドミキサ (400rpm 以上)
- ・練混ぜ容器 (40～60L 程度)
- ・水計量容器 (最少目盛 100cc)



- ①練混ぜ水量は、1袋に対して **6.0±0.5kg** です。
- ②所定量より少なめの水を練混ぜ容器に入れ、ハンドミキサで攪拌しながらエスレベルNKを徐々に投入して下さい。
- ③材料の軟らかさを確認して水量を調整して下さい。過剰な水量は材料が分離し、クラック、剥離、不陸の原因となります。
- ④ダマが無くなるまで十分に攪拌して下さい。攪拌時間は**材料投入後1～2分**を標準とします。

## 2. 打設

- ①エスレベルNKの施工厚さは5mm 以上を標準とします。
- ②レベル表示は、釘等によって1m 前後の間隔でアタリを取って下さい。
- ③エスレベルNKは、流込み用カップ (プラスチック製ジョッキ等) を用いて端部よりレベル表示 (アタリ) に従って流し込んで下さい。



[施工長の目安] ※1袋当たり14リットルとして算出

施工厚さ	1袋当たりの施工長さ		
	基礎幅 10cm	基礎幅 15cm	基礎幅 20cm
5mm	28m	18m	14m
10mm	14m	9m	7m
15mm	9m	6m	5m

## 3. 養生



施工後は、直射日光や風による急激な乾燥、降雨による雨打たれ、凍結等を防止するべく、**シート養生等**の養生を行って下さい。養生は脱型まで継続して行って下さい。

## 4. 脱型

型枠脱型時期は、「日本建築学会 建築工事標準仕様書・同解説 JASS5 鉄筋コンクリート工事 2009 29 節 住宅基礎用コンクリート」等を参考にして決定して下さい。標準的な脱型時期は、気温等によって変動しますが6～14日です。



## 留意事項

- ・流動性が極めて高いので、型枠等の隙間は完全にシールし漏出を防止して下さい。
- ・気温5℃以下での施工は避けて下さい。
- ・厚さ5mm 以下の施工は、クラック、不陸、剥離等が懸念されますので避けて下さい。
- ・練混ぜ時間および練混ぜ水量を遵守して下さい。
- ・アルミ製の攪拌羽根の使用やアルミを含有する材料の混入は異常膨張を起こす恐れがありますのでご注意ください。
- ・エスレベルNKの保管は、雨露等がかからず湿気の少ない場所を選び、パレット等で地面より高い所へ置いて、全体をビニールシート等で覆って下さい。

## 取扱いの注意

- ・本製品はセメントを使用しており、水と接触すると強いアルカリ性を示します。
- ・取扱いの際には、安全データシート (SDS) をお読み下さい。
- ・目や口や鼻に入れないようご注意願います。万一入った場合は直ちによく洗浄し、専門医の診断を受けて下さい。
- ・取扱いの際は防塵マスク、保護メガネ、ゴム手袋等の保護具の着用をお願いします。
- ・子供に触れさせないようご注意下さい。

(2026年4月1日改定)

## 日鉄高炉セメント株式会社

東京支店	〒103-0025 中央区日本橋茅場町2丁目8-8 (関電不動産茅場町ビル3F)	☎03-6856-0947
名古屋営業所	〒450-0002 名古屋市中村区名駅4丁目26-13 (ちとせビル8F)	☎052-485-5748
大阪支店	〒541-0041 大阪市中央区北浜4丁目8-4 (住友ビルディング第4号館2F)	☎06-7669-6410
九州支店	〒812-0025 福岡市博多区店屋町5番18号 (博多NSビル2F)	☎092-283-0311
製品開発課	〒803-0801 北九州市小倉北区西港町16番地	☎093-563-5118